

悠紀齋田御田植えの絵

悠紀齋田の営みを絵画で記録した松村樗雨（おうう）、後の松僊（しょうせん）という日本画家が、明治から大正、昭和の時代に、この中島で活躍していた。彼の悠紀齋田にかかわる絵画は、この中島周辺でも今もなお大切にされ当時の姿を伝えている。

松僊の作品で特に有名なものは「大嘗祭悠紀齋田播種ノ圖」である。これは、1915（大正4）年、大正天皇の名古屋御駐泊の際に天覧に供する絵画を描くようにという愛知県知事松井茂の命により描かれた。実際に大正天皇が名古屋離宮（現名古屋城）で天覧された。それについて、松僊は一身の光栄、一門の誉れとして、天性の才能を発揮して取り組んだということである。また、同年、皇太子殿下（昭和天皇）が名古屋御駐泊の際に台覧に供した「悠紀齋田経過帖」も描いている。

また、「悠紀齋田記念画帖」も描いた。これは悠紀齋田の一連の活動を表したもので、増刷され、多くの関係者に配付された。このように有名になったためか贋作も出回るようになり、自身の雅号を「樗雨」から「松僊」へ改めた。

この六ツ美や岡崎には数多くの松傷の絵画が残っている。悠紀齋田御田植踊りの早乙女を描いた美人画や「悠紀齋田御田植唄囀」、蜂須賀小六と日吉丸（後の豊臣秀吉）の矢作橋での「出會之圖」、中島八幡社に奉納されたダルマの額など、この地に係わる絵画を多く描いている。

本項は以下の資料を引用している。

[六ツ美南部の歴史・文化を紐解く]

著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 高須 亮平
発行日 2012（平成24）年3月31日 初版発行
印刷所 ブラザー印刷株式会社

[大嘗祭 悠紀齋田]

筆者： 野々山 克彦
監修： 野村 弘、都築 末二、山崎 鉦司、越山 義之
発行日：2014（平成26）年4月1日
印刷所：永田印刷所



松村松僊



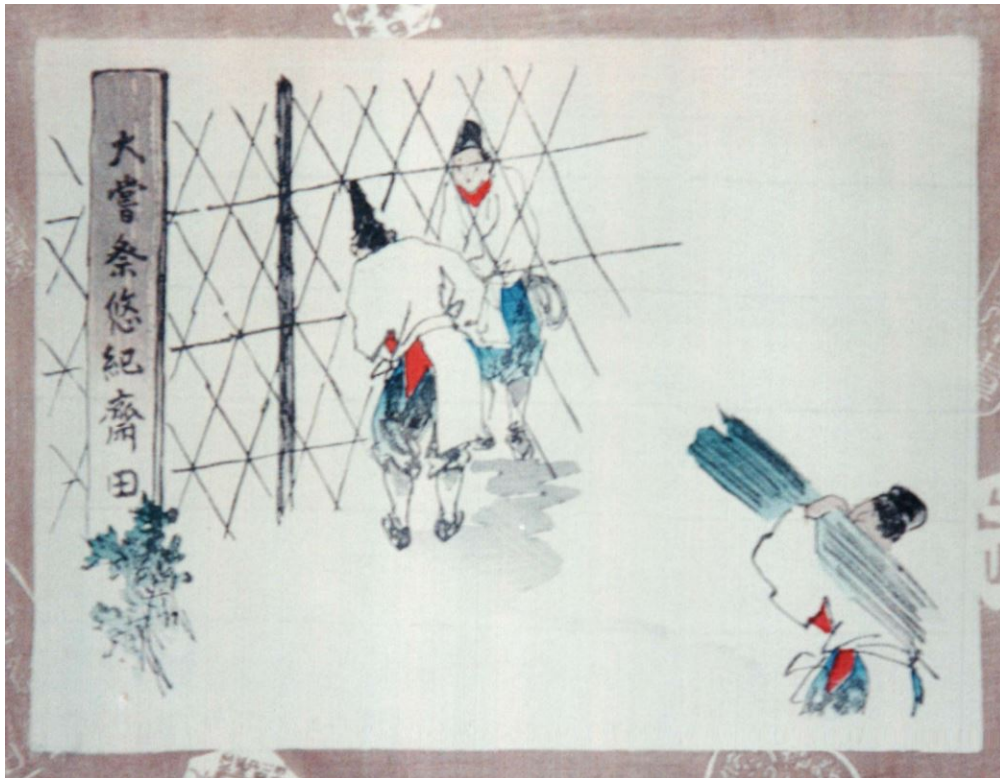
早乙女の美人画



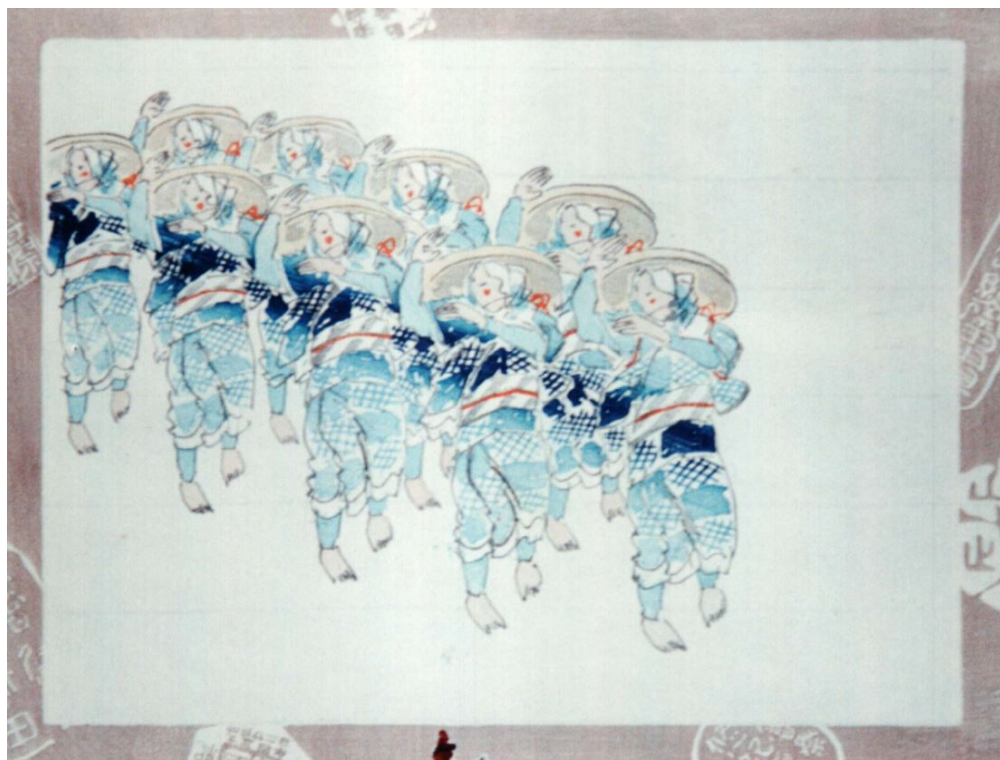
ダルマの額



大嘗祭悠紀齋田播種ノ圖



大嘗祭悠紀齋田圖



大嘗祭悠紀齋田圖

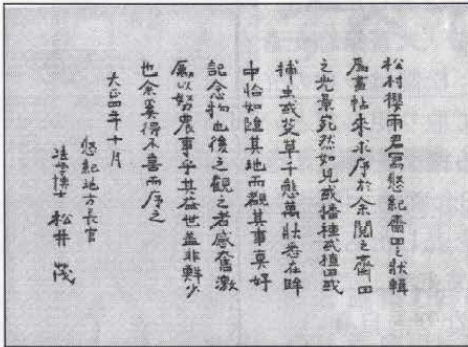


大嘗祭悠紀齋田圖

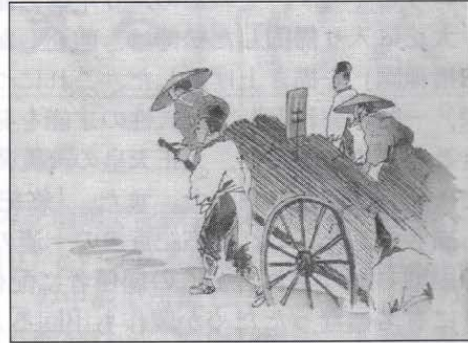


大嘗祭悠紀齋田圖

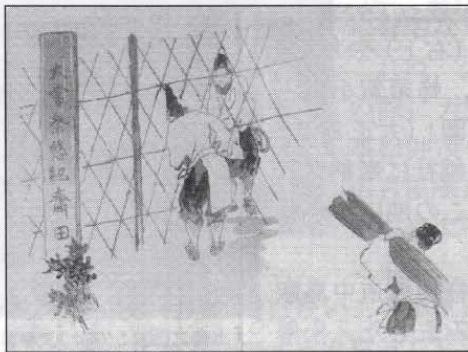
【悠紀齋田紀年画帖】（松村櫻雨（松僊）画，大正4年）



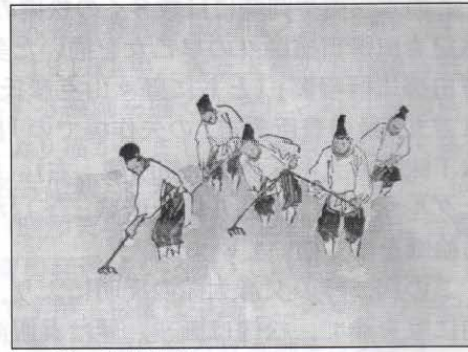
◎ 前書き



① 忌竹運搬



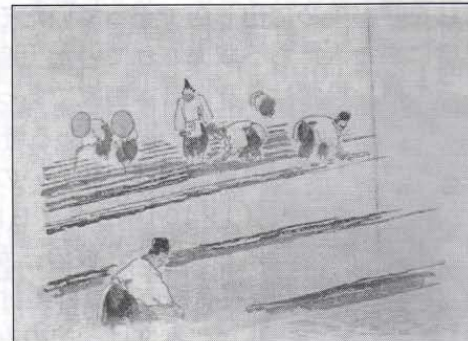
② 竹矢来製作



③ 苗場耕作



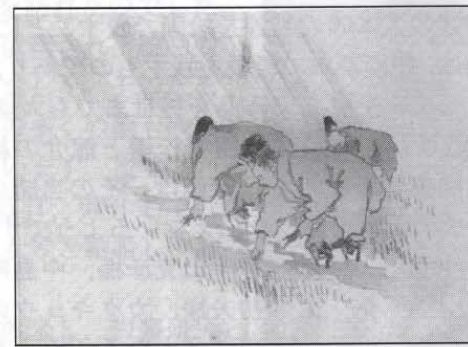
④ 清祓式



⑤ 播種



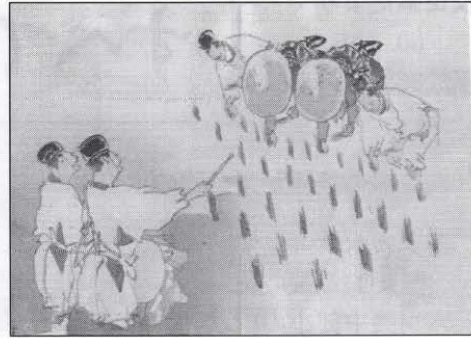
⑥ 奉耕田服装



⑦ 苗代除草



⑧ 施肥



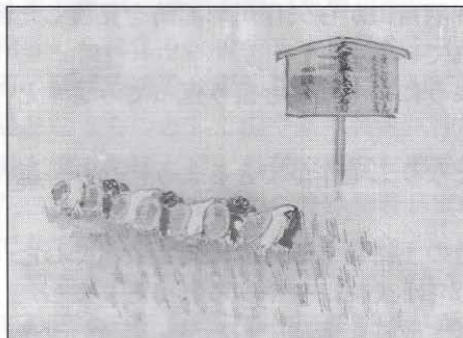
⑨ 田植



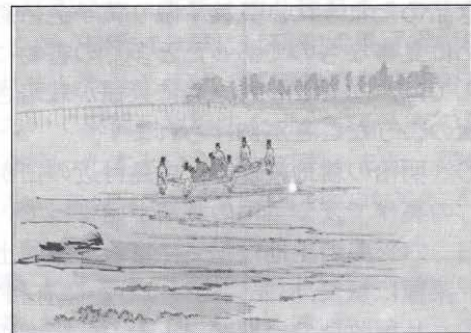
⑩ 田植女欣舞



⑪ 学生害虫採取



⑫ 田草取



⑬ 大聖寺蹟大祓



⑭ 拔穂式勅使下向



⑮ 稻刈